

NGOの連携網を

サハリン大震災で総括

協力した日本サハリン同胞
交流協会、チャーター便を
一析機や薬品を提供したメー

サハリン大震災の救援活
動に参加したアジア医師連
絡協議会（AMDA）本部
岡山市、菅波茂代表）と、
その活動を支援した民間グ
ループの代表らが二十七
日、東京・永田町の憲政記
念館で「サハリン大震災総
括フォーラム」を開き、N
GO（非政府組織）間の連
携網を早期に確立すること
などを決めた。

フォーラムには、AMDA
をはじめ、阪神大震災地
元NGO救援連絡会議、立
正佼成会や外務、建設、郵
政省、民間企業の代表約五
十人が参加。

サハリンで緊急支援活動
を行ったAMDAの現地報
告の後、通訳や入国の面で



緊急救援NGO
サハリン大震災総括フォーラム
アジア・太平洋緊急救援ネットワークをのぞいて
平成7年6月27日
主催：AMDA（アジア医師連絡協議会）
共催：72時間ネットワーク
阪神大震災地元NGO救援連絡会議

AMDAなどが開いたサハリン大震災総括フ
ォーラム（東京・永田町の憲政記念館）

カーなどが、支援にいたる
までの苦労話を披露。現地
を訪れたAMDAの鎌田裕
十朗医師が「サハリンの在
留邦人から『みなさんが来
てくれ、日本人であること
に誇りを感じる』と言われ、
胸を打たれた。顔の見える
国際貢献を今後も続けてい
きたい」と総括した。

最後に、菅波代表が「今
回の経験を生かし、緊急時
にNGOが連携できる組織
を早急につくりたい」と提
言。AMDAを中心に、災
害から三日間（七十二時間）
以内に緊急援助を実践する
ための「72時間ネットワーク」
を十月までに設置し、
同月、国際的なNGOを集
めた「アジア太平洋緊急救
援フォーラム」を日本で開
く計画を報告、了承された。

東京駅の大規模改修工事
を進めているJR東日本は
二十七日、現在の中央線ホ
ームの斜め上に新設した高
架式の中央線ホームを公開
した。新しいホームは地上
からの高さ十五メートルで、長さ
は現在のホームより二十七
メートル長い二百五十七メートル。
来月二日から使用を開始する。